



全国消防職員協議会

National Council of Japanese Firefighters and Ambulance Workers

消防職員の活動と地方自治体の責務

北海道ブロック幹事 長谷川亜純



自己紹介

長谷川亜純（はせがわ あすみ）

2012年 消防士拝命 本部予防課配属

2013年 消防隊配属

2014年 消防署予防係

2017年 消防指令センター配属

2019年 救急隊配属

2020年 法政大学卒

2022年 指揮隊配属



異国情緒あふれる街 はこだて



五稜郭公園

八幡坂



世界遺産 大船遺跡
・ 垣ノ島遺跡



金森倉庫群



異国情緒あふれる街 はこだて



Agenda

1. 消防の組織
2. 消防の任務
3. 消防職場の実態
4. 世界から見た日本の消防



消防のイメージ

「消防士って最高！」 「同じ職場で働こう！」

と、自信をもっていえる職場だと思いますか？

消防の組織

○ 市町村消防の原則（消防組織法第6条）

消防組織を運営することは**市町村の役割**

↳ 消防職員は「**自治体職員** = **地方公務員**」

～消防事務の共同処理～

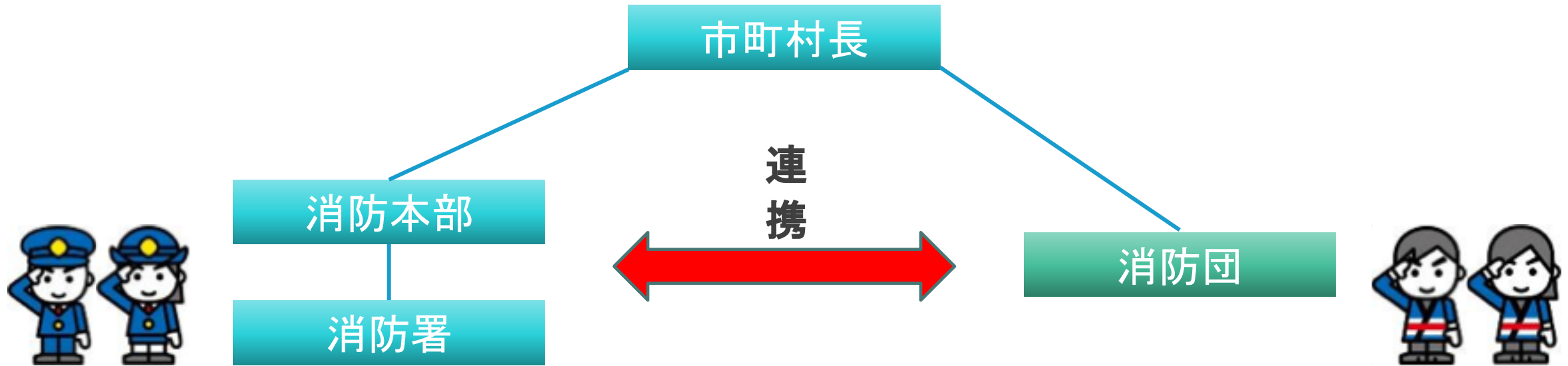
- 「単独消防」 ⇒ 単独の市町村で消防事務を行う
- 「一部事務組合」「広域消防」 ⇒ 複数市町村が共同で消防事務を行う
- 「事務委託」 ⇒ 消防事務を委託

Ex.) 東京23区は東京都に事務委託している



消防の組織

～消防職員と消防団員～



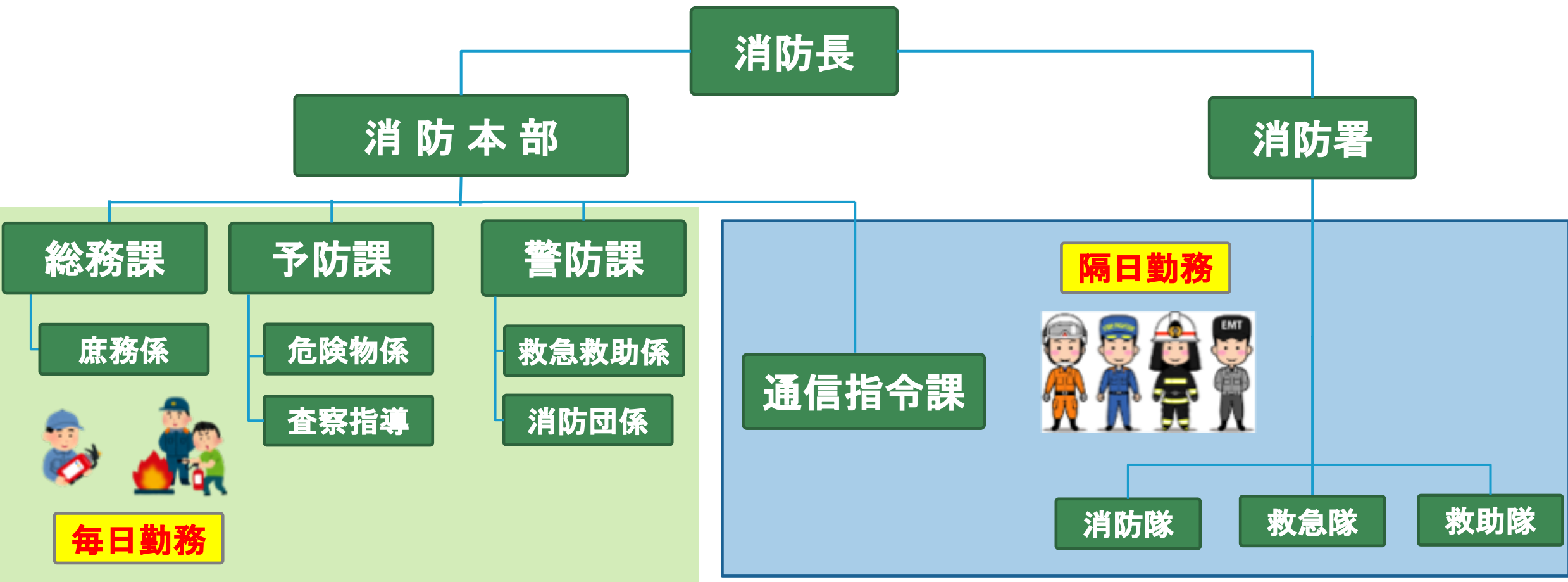
消防職員（常備消防）

常勤の一般職地方公務員
消防吏員とその他の職員
(約17万人)

消防団員

非常勤の特別職地方公務員
普段は**各自の職業**に従事
(約81万人) 職員の倍

消防の組織



消防は災害出場だけでなく、
設備の検査や防災訓練など予防・啓発も行う

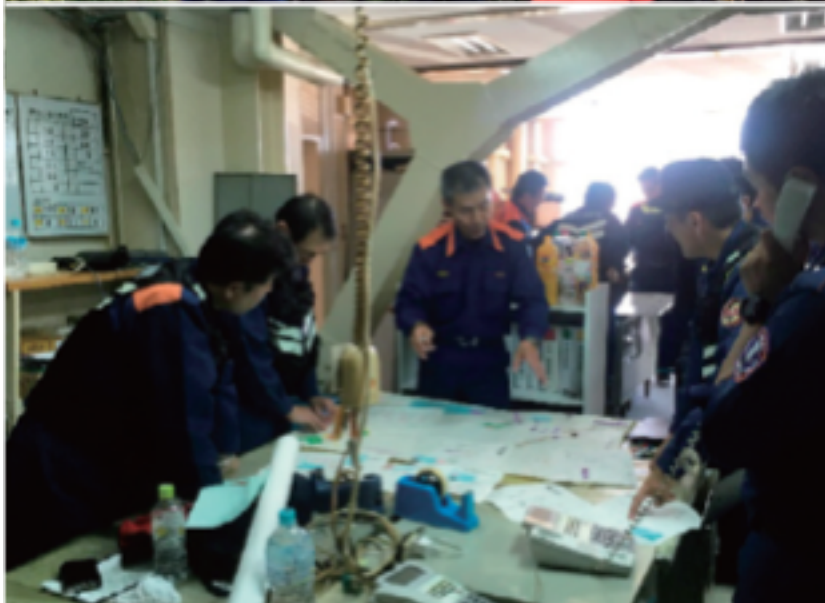


消防組織法第1条【消防の任務】

消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務とする。



大規模災害時の災害活動



2018年北海道胆振東部地震

活動人員規模 642隊2,632人

救助実績 24人

死者 41人

負傷者 691人



総務省消防庁
消防の動き2019年1月号

緊急消防援助隊

平成7年（1995年）阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合、国家的観点から効果的かつ迅速な人命救助活動等を行うために**全国の消防機関相互による援助体制を構築する**ことを目的として、平成7年6月に創設された。

2005年
福知山線列車事故



2016年
熊本地震



2018年
西日本豪雨災害



東日本大震災



2011年3月11日 震源：宮城県三陸沖
日本の観測史上最大 **マグニチュード9.0・震度7**
宮城県女那川漁港で**14.8mの津波**の跡が確認

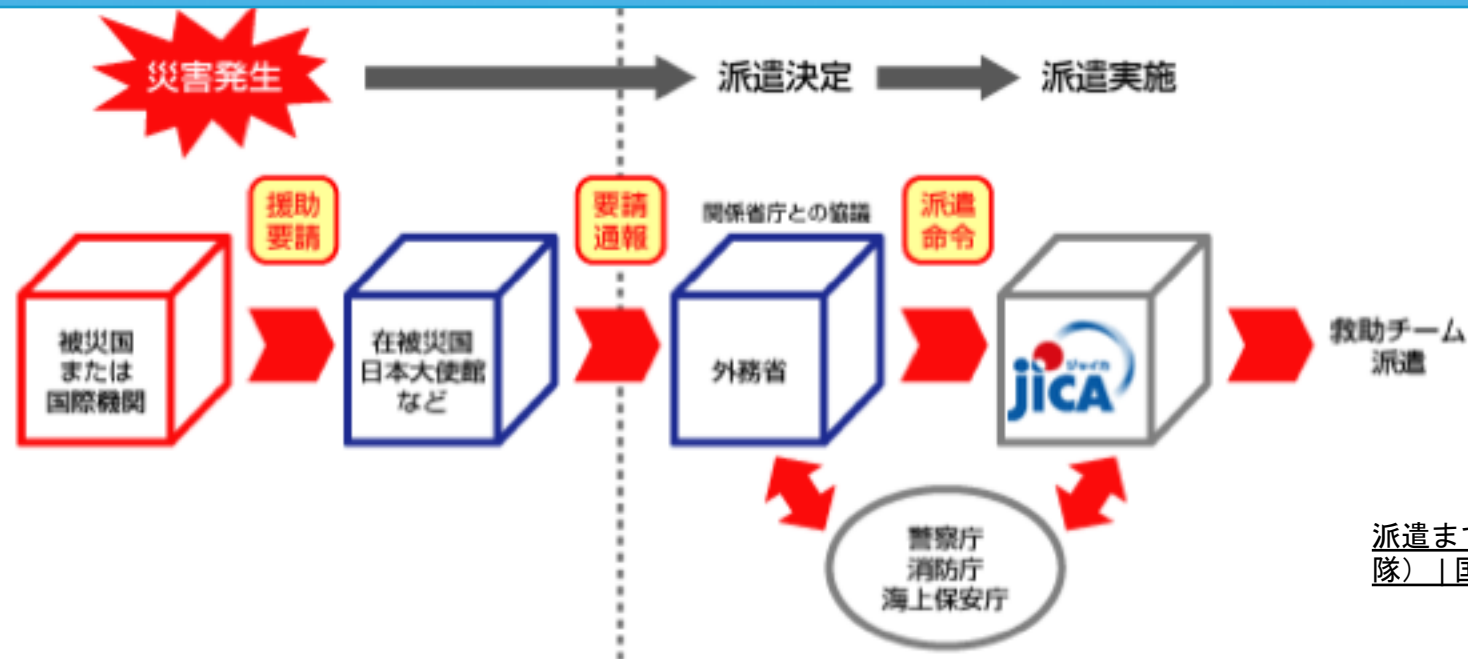
人的被害	死者	19,747名
	行方不明者	2,556名
	負傷者	6,242名
建物被害	全壊	122,005棟
	半壊	283,156棟
	一部破損	749,732棟

(令和3年3月9日時点 緊急災害対策本部資料より)

国際緊急援助隊

地震や台風などの自然災害が多い日本の経験を、途上国の災害救援に活かすため、1970年代後半に医療チームの派遣を中心とする国際緊急援助活動が始まった。1992年の「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」改正を踏まえ、**救助チーム、医療チーム、専門家チーム、自衛隊部隊**の派遣が可能となった。

※2015年10月**感染症対策チーム**設立(2014年西アフリカにてエボラ出血熱への支援から)



派遣までのプロセス（国際緊急援助隊） | 国際緊急援助 - JICA

消防現場では...

- ・ 危険な場所での活動
 - ↳ **現場の安全は保障されていない**
- ・ いつ、どんな事案（災害）が起こるか予測できない
 - ↳ **突然おとずれる緊張**
- ・ 隊（チーム）での活動
 - ↳ **指揮命令系統**の重要性



労働安全の高い意識と
強靱な精神力が必要とされる

消防現場では... (その反面)

- 厳しい訓練に耐えることが求められる

↳ **ハラスメントの正当化**

- 消防職員は全員同じ緊張下で仕事をしている

↳ **自分だけ弱音を吐けない**

- 災害は容赦なく起こる

↳ **PTSD (心的外傷後ストレス障害) の危険性**



消防職の特性から、ハラスメントの横行と
PTSD対策への対応の遅れが多発

自殺

消防職場の実態

労働三権が全く認められていない消防に採用されると

各都道府県及び政令市が管理する消防学校に入校

6か月の初任科教育にて、

団結権は認められていないため、『お前らにそんな権利はない』と教え込まれる

(そもそも、この仕事を選んだのなら文句を言わずに命令だけ聞いて黙って仕事しろ)

現場に出たら・・・

『**市民のために先輩方が築いてきた消防の伝統を守れ**』と洗脳される

『**市民のため**』 『**消防の誇り**』 など、**魔法の言葉**を連呼され、やる気の搾取が日々行われる

多くの消防職員は『**特殊な仕事だから仕方ない**』と思い、使命感を支えに働く

消防職場の実態

階級社会であるため上意下達（じょういかたつ）の職場風土が根強く、職場に問題や不満があっても『権利主張』をためらい我慢してしまう

疑問を投げかける労働組合が存在しないため、自らの『労働』について考え、改善する機会がない

そもそも何かがおかしいと思っても、何が問題なのかもわからない

さあ、ここから大いに問題が起きてきます！

採用時点ではやる気があったのに、どんどんやる気がなくなる

毎日毎月毎年同じことの繰り返しの仕事をする職員が増加・・・

何年たっても組織も変化することなく、悪いところはそのまま・・・

人員削減で住民サービスが低下することはあっても向上することはまずない・・・

このあたりで係長などの管理職になってきますが、これまでの20年で責任逃れの言い訳を模索するだけの職員が完成します
ハラスメントは当然なくなる、『**自分はやられてきたんだ**』 『**お前たちはなぜそんなにぬるいんだ**』

女性活躍推進

目標 2026年までに5%

消防吏員	3.4%
警察官	10.9%
海上保安庁	8.6%
自衛官	8.3%

(2022年4月現在)

全国723消防本部のうち
121本部は女性消防吏員がない

働きやすい職場へと
シフトチェンジの真ただ中！



令和5年1月10日配信～公務員のおシゴトが気になっている人へ、実際



消防のイメージ

皆さんは、

「**消防士って最高！**」 「**同じ職場で働こう！**」

と、自信をもっていえる職場だと思いませんか？

世界から見た日本の消防

ILO:国際労働機関



日本は1919年誕生時からの加盟国で現在**常任理事国**

- ▶ ILO第87号条約（日本政府は1965年に批准）

『結社の自由及び団結権の保護に関する条約』

↓ しかし

労働三権（**団結権**、**団体交渉権**、**団体行動権**）は消防職員に認められていない

↓ だから

日本政府はILOから

消防職員への団結権付与の勧告を11度にわたって受けている

世界から見た日本の消防

日本政府の考え方

- ▶ 日本の消防は、ILO 87号条約第9条の「警察」に含まれる。
- ▶ 消防活動にあたっては、厳正な規律と統制のとれた迅速果敢な部隊活動が常に求められている。

主要先進国で
唯一、消防職員に
団結権がない



労働三権（**団結権**・**団体交渉権**・**団体行動権**）

全国消防職員協議会の存在意義・目的

1. 労働者一人ひとりの力は弱いものだけど、団結することにより、声が大きくなる。
(過半数になると当局も無視できなくなってくる)
2. 労働者として労働三権は認められるべきものであり、日本政府は世界から非難を受けている。

全消協は 「日本の消防職員の**労働環境改善を目的**」

に声を上げる自主団体

職場環境改善を当局に訴えるには

相応の人数からなる『**組織**』が必要

全国消防職員協議会

～団結権回復にむけて～

1977年8月『**明るく魅力ある消防職場づくりと消防職員の権利と生活のための消防行政を確立する**』ことを目的に発足した。

学習会、研究活動や情報の共有化をはかり、**民主的で働きやすい職場を作るために活動**している。

【約200単協 約13,000人】

全消協は、団結権が回復することにより、民主的な職場環境の構築をめざし、**住民に対して更なる質の高い消防行政サービスを実現させることが目標**！



全消協の活動



労働講座



PSI-JCジェンダー
平等セミナー

労働条件や各単協が行っている活動の紹介など、働く上で知っておくべき知識の向上や情報の共有を図っている。

国内・世界各国の消防職員との相互交流を行いながら、それぞれの職場で消防行政や職場環境の改善などにも取り組んでいる。



合同学習会 (WEB)



全消協の活動



総務省消防庁



厚生労働省



自治労消防政策議員懇談会

定期的に関係省庁や議員との
意見交換や要望書を提出

消防行政の充実と労働安全衛生体制の構築
新型コロナウイルス感染症対策
緊急消防援助活動
働きやすい職場環境の整備
広域化
定年年齢の引き上げ



消防って本当にいい職場だ！

日本全国の消防職員が

「消防士って最高だ！」 「同じ職場で働こう！」

と、自信をもって言えるそんな職場をめざしたい。

笑顔が絶えない職場をめざして

1人の意見は 『愚痴・文句』

としてとらえられてしまう・・・

しかし、過半数以上の声は 『愚痴・文句』

ではなく 『意見』 となる

私たちの活動のすべては

『住民サービス向上のため』

そして・・・

『未来の消防士のために』

